

健康と光線

鳥インフルエンザは 何故こわい

冬流行するインフルエンザ（流行性感冒）と普通感冒との異なる点は、高熱など全身症状で発病し、肺炎や脳炎など重い合併症を併発することです。そのため特別に対策が講じられていますが、昨今、強毒性鳥インフルエンザの話題がマスコミを賑わしています。

流行的なインフルエンザウィルスにA型とB型があります。B型はヒトにだけ感染しますが、A型はヒト、トリ、ブタ、ウマなどに分布し（人獣共通感染症）、殊に鳥インフルエンザウィルスは渡りにより移動するトリ（カモなど）から家禽鶏に感染が広がり、更にこのウィルスに感受性を持つ哺乳類（ブタ・ヒト）に感染すると、遺伝的性状を異

にする複数のウィルスが複製の過程で入れ替えを起こし（遺伝子再集合という）、ヒトからヒトに感染する新型のA型インフルエンザウィルスになる可能性があるのです。もしこうして遺伝子変異した新型インフルエンザウィルスが免疫のないヒトの集団に感染すると、世界的大流行（パンデミック）を起こし、免疫機能が低い高齢者や幼児で多数の犠牲者が出ることは過去にスペインかぜ（1918年、アジアかぜ（1957年）、香港かぜ（1968年）で学習したことなのです。

わが国の 鳥インフルエンザ対策

インフルエンザ対策としてワクチン接種があり、高齢者には公費助成があります。しかしワクチンを接種してもインフルエンザに罹る人が多いのは、ワクチン

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

チンを接種しても抗体価が上がるとは限らないためです。

個々人に求められる 鳥インフルエンザ対策

—サナモアで免疫機能を高めよう—

サナモア光線協会

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

ルエンザ治療薬のタミフル（リレンザという薬もある）の備蓄計画があります。インフルエンザにタミフルを発病48時間以内に使えば経過を短縮できるとされていますが、最も重篤なインフルエンザウィルス肺炎のような合併症では効果は確かめられていません。

加えて鳥インフルエンザウィルスに感染したミフルで治療された患者から同薬への耐性ウィルスが検出されています。もし新型ウィルスが耐性ウィルスで、その耐性ウィルスが流行したら、沈静化は難しいことが予想

されます。

忘れてはならない
免疫の力

ヒトの別称のホモサピエンス

は英知の意ですが、鳥インフルエンザ対策の英知はワクチンの開発と治療薬の備蓄だけではありません。夏、日光浴をする、冬、風邪を引かないと言いつつ、風邪はインフルエンザです。これこそホモサピエンスの経験に裏打ちされた英知なのです。

ヒトの免疫は新型ウィルスにも対応する能力があり、光線には免疫機能を高める作用があります。個々人の新型インフルエンザ対策として、健康管理を兼ねてサナモアを日常的に照射することに加えて頂けば、インフルエンザの型を問わず自己防衛に役立ちます。

（五面に関連記事）

迎春

平成十八年 元旦

（株）東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

（五日より営業します）

一病息災 一病息災

腎不全と骨・関節疾患

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

近年の高齢化や糖尿病患者の急増にともない、腎不全患者は増加傾向にあります。腎臓には、①余分な水分や老廃物の除去、②塩分や水分量の調節、③血圧の調節、といった働きがありますが、腎不全は、様々な原因により、尿の生成・排泄の基本的な過程である糸球体ろ過が低下

し、上記のような腎臓の働きが阻害された状態の総称です。腎排泄低下により、たんぱく質の最終代謝産物である尿素、クレアチニン、尿酸等が貯留し、水・電解質の恒常性の破綻をきたすわけですが、急速に腎障害が進行し可逆的なケースが多い急性腎不全と緩やかに腎障害が進行する慢性腎不全に分けられます。後者の場合、生命維持のため、血液透析、腹膜透析、腎移植の

どれが必要となりますが、透析療法の進歩により安定した透析が可能となったことは、透析期間の長期化につながり、腎不全患者に引き起こされる様々な合併症が明らかとなりました。なかでも、狭心症、心筋梗塞、脳卒中などの循環器系疾患は直接生命予後を左右する重要な問題ですが、骨・関節疾患も、患者自身の生活の質を左右しかねない大切な問題であることに間

症 例：54歳、男性。

主 訴：右膝の関節痛。歩行障害。

起 始・経 過：36歳から慢性腎不全のため、週に3回の血液透析を施行してきたが、約半年前から右膝の関節痛を自覚。当初は歩行時などに軽い痛みを自覚するのみであったが、痛みは徐々に増悪。数週間からは、安静時にも痛みを認め、夜間も痛みのため覚醒することが頻回となったため当院受診。現在、消炎鎮痛剤を内服し、ペインクリニックにて治療を受けているが、一向に改善はみられない。

既往歴：手根管症候群手術、副甲状腺摘出手術。

治 療：①側臥位にて30分、4灯照射。

膝上(BD)、膝下(BD)、膝裏(BD)、足裏(AB)。

②坐位にて20分、2灯照射。

両側の膝内側(BD)。

経 過：初回の治療後から、関節痛の軽減を自覚。数回の通院後、光線治療器を購入し自宅での治療を開始。毎日、患部を中心とした治療を続けたところ、徐々に症状は緩和され、約2か月でほぼ症状は消失。その後も治療を継続しており、良好に経過していると報告を受けた。

病気と光線療法

違いありません。

慢性腎不全という基礎疾患を有し、長期に血液透析を行っている患者では、高齢者に見られる変形性骨・関節疾患とは異なる機序で、骨・関節疾患が発症します。腎性骨症と称されるこの病態は、カルシウム・リン代謝異常、ビタミンD活性化障害、二次性副甲状腺機能亢進症、アミロイド沈着などが複雑に関与して形成されます。本症例も、長期透析によってもたらされた膝関節痛と考えられますが、サナモア光線療法の消炎鎮痛作用により、十分に痛みを緩和する効果があることが確認されました。これからも、長期透析患者の増加により、多くの方がそれに伴う骨・関節疾患を引き起こし、痛み等に悩まされることが予想されますが、サナモア光線治療を早期から試して頂きたいと思います。

第十一期
サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ
第十一期サナモア光線治療師
養成講座を、七月に東京にて開



宇都宮 正範

講します。昨年度は、十四名も
のご参加を頂きましたが、光線
治療院の開業を検討されている
方やサナモア光線療法について
勉強したいとお考えの方は、是
非、ご連絡ください。なお、日
程等につきましては、次号に掲
載する予定です。

第二十一回 「光と熱研究会」 のお知らせ

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のご愛用者の方も是非ご参加下
さい。なお参加は無料です。

日 時：一月二十一日(主)

午後二時三〇分

場 所：サナモア光線治療院
三階会議室

治療院& 治療師紹介

このコーナーでは、光線治療
院を開業され御活躍中の先生方

や、光線治療師の資格を取得さ
れ、光線療法の啓蒙・普及活動
に携わっている先生方をご紹介
させて頂いております。

ライトセラピー Tanino

(写真)

(平成17年11月21日開院)

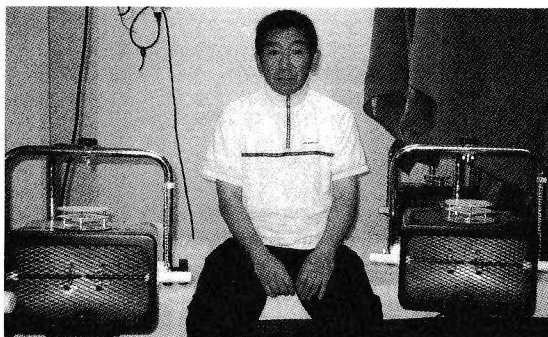
電話：〇二六六―四七―三七五八

住所：旭川市永山7条6丁目

4-19

院長：谷野貞幸先生(十期)

一言：それは突然のことでした。
会社側から、事業の継続が困難
になったので十二月末をもって
閉鎖するに至ったと告げられま
した。それを機に、以前からサ
ナモア光線療法に興味があつて、
持病の腰痛や慢性湿疹の相談を
させて頂いておりましたので、
平成十七年七月の治療師養成講
座を受講致しました。それから
四か月、自分の体を治療しなが
ら試行錯誤を繰り返しておりま
したが、気がつけば、あれほど
痒かった湿疹も何処へやら。再



谷野貞幸先生

就職は難しい現状で、今本当に
やりたいことは何か、サナモア

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

しかないと思ひし開業の決意を
固めたのです。70年以上の実績
に基づいたサナモア光線療法に
アロマ酸素を併用することで、
更なる自然治癒力の向上が期待
できると考え、病気の予防や治
療を促す、害のない自然療法に
取り組むことにしました。当院
では、「光と酸素がなければ生
命なし」をモットーに、皆様の
健康維持に少しでもお役に立て
るよう、また、サナモア光線の
普及に貢献できるように頑張り
たいと思います。

第17回

日本療術学会から

神戸市・ポートピアホテル

平成17年11月13日(日)、14日(月)

肺癌の治療経験



社団法人 神奈川県療術師会

海渡 一二三

はじめに

報告例は胸部X線撮影で右肺中葉に1センチ大の円形コイン様陰影(写真1)を認め、CT、喀痰細胞診の結果、肺癌と診断された患者である。なお気管支ファイバースコープによる検査は病巣に届かないため受けていない。病院では手術を勧められ、患者は病院の治療を断り、サナモア光線療法と食事療法を

希望した。この病院は食事療法を取り入れており、演者の仲介でサナモア光線療法も行っているため、これまでも病院の医師からの紹介患者を治療してきた経緯がある。今回も医師から肺癌の患者を紹介するとの電話があり治療した結果、異常陰影が消失し、完治を告げられた治療経験を報告する。

症例

患者 62歳 女性 会社員
主訴 肺癌。呼吸器系の症状は時々咳がでる程度で血痰はない。

初診時所見 顔色は悪く痩せている。

既往歴 特記すべきことはない。

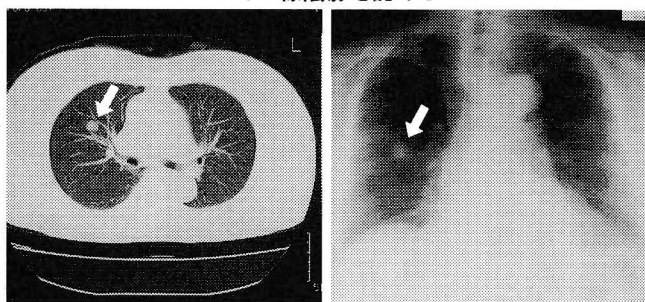
治療法ならびに経過

平成8年11月13日から演者の治療院でサナモア光線療法を始めた。カーボンは当初はBDカーボン、快方に向かってからABカーボンを使い、4台の治療器で多灯照射を毎日行った。治

療は側臥位や仰臥位で右肺中葉に一台から二台の治療器を使って4時間照射し、残りの治療器で、顔面、頸部、腰部、臀部、膝部、後頭部、腹部、足裏に加えて、患者が希望した部位に照射した。

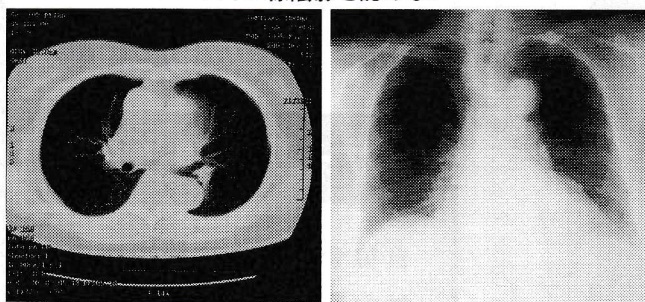
治療を始めて約1年半経過した頃、医師から肺の異常陰影が小さくなったと言われ、医師が手術を勧めることはなくなったと言った。その後も順調に経過したので、治療院の治療は2年を経た平成10年11月に中断し、患者は病院での診察結果に変化があれば連絡するように話し、その後は自宅治療とした。患者は自宅で指示通りに治療を続けたが、

コイン様陰影を認める



(写真1)

コイン様陰影を認めない



(写真2)

7年6ヶ月を経て69歳になった平成16年4月に来院し、医師から完治を告げられたこと、併せて肺の異常陰影が完全に消失した胸部レントゲン写真とCTフィルム(写真2)を持参し、医師が有り得ないと言っていたと喜んでいて。演者は宇都宮先生に見せたかったのでフィルムをコピーして欲しいと頼んだら、明けて平成17年1月にコピーフィルムを持参し、異常な腫瘤影が消失したことが確かめられたので発表することを決めたのである。

結語

肺癌と診断された患者が病院の治療を断ってサナモア光線療法と食事療法を行い、異常な腫瘤影が消失したことが確かめられたので、その治療経験を報告した。なお宇都宮先生は肺癌と断定するには気管支ファイバースコープによる精査が欠かせないと言われたが、医師から肺癌として紹介されたので、肺癌の治療経験とした。

生命体には自らを守る防衛的な反応がある。その中軸の一つが免疫系で、先天性にすべての生命体に備わっていて即座に非自己異物を認識して排除する非特異的防御機構の自然免疫と脊椎動物にのみある後天性の特異的防御機構の獲得免疫がある。獲得免疫は自己か非自己か、すなわち抗原かを見極め、抗体を生成して排除する抗原抗体反応である。しかし獲得免疫は抗原に特異的に反応するため、過剰に反応してアレルギー疾患の、自己の細胞に異常に反応して自己免疫疾患の病因になる。そのため免疫系は抗原に過不足なく反応するホメオスタシス生体恒常性を維持する機構でなければならぬ。

ところで光線サナモア光線療法は免疫系と密接に関わっている。簡潔に述べるが、免疫に関係する一兆個ともされる細胞、すなわち自然免疫に属するリンパ球(NK細胞)、獲得免疫に関わるマクロファージ(食細胞)やリンパ球(T細胞、B細胞)の機能は、カルシウムパドックスを起すことと低下する。また

自然免疫でウィルスの増殖を抑制するインターフェロンや腫瘍細胞の増殖を抑制する腫瘍壊死因子(TNF)の生成を促し、獲得免疫で自己と非自己を見分けるマクロファージやマクロファージからの情報を受けて抗体生成の役割を担うリンパ球の細胞分化を誘導する。要は光線に免疫系を強化する大恩があることを信じて、光線を浴びることに尽きるのであるが、若干、補足して説明する。

鳥インフルエンザウイルスは毒性が極めて強く、鳥から人への感染例の致死率は50%以上、ウィルスがヒトからヒトに感染する新型に変異して弱毒化したとしても、過去最悪のスペイン風邪の致死率2%

、犠牲者300万人を上回る可能性が危惧されている。しかし国の対策がどこまで役立つか空振りに終わるかは、新型インフルエンザが流行するまで分からないのが本音であることは本紙の

疾病に対する防衛反応

免疫系に及ぼす光線の作用

サナモア光線協会 医学博士 宇都宮 光明

一面で述べた。一方、個々人の免疫系がウィルスと闘う防衛反応を信じて強化することは、間違いなく役に立つ。仮に新型インフルエンザが流行して大騒動になっても、免疫系が十分に反応し機能すれば、通常は一週間前後で自然治癒するからである。その経過を大まかにたどると次のようになる。

ミサイル攻撃を仕掛ける免疫グロブリンを産生して(液性免疫)、ウィルスに総攻撃をしかけて撃退する。なお獲得免疫には過去に罹患した病原微生物に対する記憶を保持して免疫系を速やかに立ち上げるブースター効果(免疫の二次反応)があるが、新型インフルエンザにはない。そのためパンデミック(世界的大流行)が懸念されるのであるが、同時に個々人が免疫系の強化に努めて自己防衛することとを強調するのである。

腫瘍細胞は自己の細胞から分化した細胞であるが、生命体は異物、すなわち非自己と認識するため、免疫系が働く余地がある。具体的に癌患者が重症感染症に罹患し治癒した場合に癌も治癒することがあることが知られており、また数万人から10万人に一人程度だが自然治癒するケースもある。これらは免疫系が癌細胞を異物として認識し排除したと考えられており、

ここから免疫療法と呼ばれる治療法が生まれたのである。本紙に掲載した海渡氏の報告は、肺癌と診断された患者が病院の治療を断って、サナモア光線療法で治療し、腫瘍影が消失した治療経験である。このような結果が得られたことについては、光線の免疫系の機能亢進とか、温熱療法としての効果とか、ビタミンD関連化合物の腫瘍細胞の増殖を抑制し正常細胞への分化を誘導する作用とか、未知な作用も含めて総合的に考察することが求められるが、軽々に論じることは控えたい。ただサナモア光線療法を個々人の病気と闘う防衛反応を高める治療法として、病院の治療に併用することで相乗効果が期待できると考えている。今回の報告例も担当医からあり得ないことと言われたように、医学常識では考え難い効果を経験することも稀でないからである。

最後に、外にも肺癌と診断されたが病院の治療を一切断り、サナモア光線療法で肺癌を克服したとしか考えられない症例があることを付け加えておく。

治験例報告

頭痛に対する

サナモアの効果

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 55歳 男性 会社員

症状 ある朝、突然、頭の左半分に重たいような痛みを感じる。激痛ではなかったので四日ほど放置していたが、痛みが消失しないため、近所の診療所を受診した。そこでは十分な説明のないうまま鎮痛薬を処方され、二日間内服したが、痛みは改善しなかった。次に総合病院の脳神経外科を受診し、頭部CTによる精査を施行したが、最終的には、明らかな原因を突き止めることができなかった。三十年来のサナモア愛用者である母親が口癖のように、病名が分からない時にはサナモア光線が一番いいよと言っていたことを思い出し来所した。

療経過 治療は集光器を使用して、B Dカーボンで、痛みが強い左前頭部を30分、右前頭部10分、後頭部20分、閉眼にて顔面10分をそれぞれ照射。その後、A Bカーボンにて腹部、背部、腰部、足裏、膝を各10分照射した。自宅での治療の際には、左

前頭部を一日二回照射するように指示した。治療を開始してから三日目の朝起床時、頭の芯に感じるような頭痛はほとんど消失していることに気が付く。その後、鈍痛は残存していたが、次第に軽くなり、一週間経過した頃には、わずかにしびれたような感覚が残るのみとなっていた。治療開始一か月後には、今までのもやもやもとれてすっきりとした気分となり、サナモアの効果を実感されていた。

TEL 〇七八—三三—二三五八

治験例報告

慢性的な耳鳴を

サナモアで治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

症例 78歳 女性
症状 近頃、耳鳴がとてひどく、日中は周囲の雑音にまぎれてあまり気にならないが、夜、

静かになると、音がだんだんと大きくなってきて、なかなか眠れずに困っていると訴え来所した。自宅の治療器を使ってB D

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

(株)東京光線療法研究所

カーボンで照射してみたけど、耳鳴は、増悪したような気がする」と話していた。

療経過 治療は、B Cカーボンで、第二集光器を使用し、外耳を正面から30分以上照射、その後、耳介の後下部にずらして30分照射してから、後頭部を20分、足裏を20分照射するよう指示した。その後、数か月後に電話連絡を頂き、金属音のような

耳鳴はほとんど消失し、あと少しだけ、ジャージャーという音が残っているだけになったとのこと、光線療法を頑張ったことで、話されていた。ご本人にとっては、本当に苦痛だったようで、金属音がなくなっただけでも本当にありがたいことだと感謝されていた。

TEL 〇九二—五八一—二〇三九
五七二—一五七三

治療例報告

腰椎圧迫骨折による

症状がサナモアで改善

川崎市 東京光線治療院

海 渡 一二三氏報告

症例 55歳 女性 主婦

症状 本年四月頃から腰痛を自覚しており、病院で検査を受けたところ、腰椎の圧迫骨折と診断され、これは治りにくいと説明された。七月にはいり、症状が続いていたため、サナモア愛用者の親戚に当院をすすめられて来所した。

療法経過 治療はA Bカーボンを使用。最初は側臥位にて、腰部と臀部に30分、膝と顔面に10分、腹部、後頭部、足裏に10分の照射を施行。仰臥位に体位を変換後、集光器を使用して左右の頸部を10分、左右の腰部側面と左右の膝にそれぞれ10分ずつ照射して治療を終了した。開始

当初は毎日通院されたが、六日目ころから腰痛が徐々に軽減し

てきたので、今後は自宅での治療に切り替えたいとの申し出を受け、自宅での光線治療を開始。八月にはいり、腰痛はほとんど消失したとの報告を受けたが、サナモアで良くなったことを大変喜ばれていた。

(TEL04四一七三二一五〇六七)

治療例報告

脳梗塞に伴う障害を

サナモアで治療

カワグチ光線整体療法院

川 口 一 憲氏報告

症例 66歳 女性

症状 3年前に突然倒れ、病院の頭部CT検査にて脳梗塞と診断されて入院。一週間で退院したものの、コップを落としたり、包丁で傷をついたりと右半身の不全麻痺が残り、後遺症に悩まされていた。本人は病院や薬が嫌いで、周囲に弱みをみせたく

ないといった性格であったため、こもりがちとなりストレスを感じながら生活していたが、知人の紹介にて来所した。

療法経過 治療はA Bカーボンにて後頭部20分、A Aカーボンで頭頂部10分の患部照射を実施。A B、B D、B C、A Aカーボンを適宜組み合わせ、背部、

腹部、膝、足裏の基本部位への全身照射を45分施行。治療の間隔は、3日以上あけないように指示した。初回の治療では不安な様子が伺えたが、終了後に全身の血流が一気に促進されるような感覚を感じたと話していた。三回目の治療後には、右手第二指の感覚がもどってきたと話さ

れ、更には、右足の先端に畳の折り目の感じが分かれると喜ばれた。二か月が経過した頃には、好きなテニスで今まで右側のボールに反応できなかったのに打ち返せるようになったと喜ばれ、現在は月に1、2回のペースで治療を行っている。

(TEL0四三二二二一三九九〇)

全自動光線治療器

はつらつさんと

ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

た。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

サナモア光線療法 体験記

不整脈による脳梗塞を サナモアで治しました

静岡市 前田 善喜様

約二年前から、不整脈と高血圧で投薬を受けておりました。平成十六年の暮れ、私は車で信号待ちをしていた、発進しようとしたところ、突然、左半身が動かなくなり立ち往生してしまいました。後ろのドライバーが異変に気づき、パトカーを呼んでもらったのですが、病院の検査では、不整脈が原因の軽い脳梗塞と診断されました。暮れであり病室は満床であったため、年明けに精密検査を予定し帰宅したのですが、入院できなかつ

たことが幸いし、自宅でサナモアを存分にけることができました。当初は、足裏の感覚が鈍く、スリッパやサンダルをはいて歩くとき片方だけ落ちてしまったり、排尿、排便の感覚がはっきりしなかったため紙おむつを使っていました。自宅では全身照射の後に、頭頂部、後頭部と足裏を中心に照射を行いました。年が明けて一月六日に病院を受診した際には、当初見られた歩行障害、構語障害、左手のしびれもほぼ改善していました。驚くほどの改善に、病院の医師も驚かれ、どんな治療をしたのかと尋ねられたので、「健康と光線」を差し上げてきました。昨日も元気に畑仕事をしてきましたが、サナモアには本当に感謝しております。

サナモアのおかげで 手術をせずにすみました

兵庫県 橋本 綾子様

先天性股関節脱臼を患う十八歳の私のことです。公的職業を定年で退職し、その後、農業をしている時に、腰を痛めて

しまいました。大学病院では、今手術をすれば、九十歳までは大丈夫と言われたため、病室が空くの自宅にて待っていました。その間、家でサナモアを一生懸命にかけました。使用したカーボンBとCです。その結果、病室が空いた頃には、すっかり痛みはなくなり、手術を受けるのをやめました。その後も今日に至るまで、ずっとサナモアを愛用し自宅での治療を続けてきましたが、結局、手術をせずに、今日まで杖を使って歩くことができました。日々、楽しい老人の生活を送らせて頂いており、心より感謝致しております。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。ついでに体験記をお送りください。お願いします。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会 TEL(03) 三七九三―五二八―
三七二―五三三―

(本紙の無断転用を禁止します。)